

平成 19 年度春季企画展

財団法人 大阪府文化財センター 小テーマ展示
シリーズ「ここまでわかった考古学」

主 催：財団法人 大阪府文化財センター
大阪府立弥生文化博物館

共 催：大阪府八尾土木事務所



山賀

最新調査成果の遺跡の



2008年3月15日(土)
3月30日(日)

開催場所：大阪府立弥生文化博物館特別展示室



大阪府立弥生文化博物館

開催場所：弥生文化博物館特別展示室

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日

入館料：一般400円、65歳以上・高大生300円

※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料、20名様以上の団体は2割引

交通：JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約600m、南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約1,500m

国道26号線「池上町」交差点南西角

駐車場：普通車80台、大型バス7台（いずれも無料）

所在地：〒594-0083 和泉市池上町4丁目8-27 TEL.0725-46-2162

本事業は、平成19年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものです。



問合せ：(財) 大阪府文化財センター TEL.072-290-0491

やまが

山賀遺跡の最新調査成果

財団法人大阪府文化財センターの小テーマ展示は、当センターが実施した発掘や調査の成果に基づいて、多くの方々に文化財を身近に感じていただき、さらに文化財の調査や保存などへの理解を得ることを目的としています。

今回は、山賀遺跡を取り上げます。山賀遺跡は、大阪府東大阪市から八尾市にかけてひろがる大規模な遺跡です。1971年の発見以来、数多くの調査がおこなわれ、縄文時代後期から中世・近世までの、各時代の遺構や遺物が多くみつかっています。

本展示では、当センターが2004年～2005年に実施した最新の調査を中心に、遺跡が最も栄えた弥生時代前期から中期初頭に焦点を絞った展示をおこないます。これまでに例をみない「垂飾」形木製品をはじめとする土器・石器・動物の骨などをおして、最新情報を紹介します。



講演会

2008年3月22日(土)

午後2時～4時

申込不要 先着順 受付は午後1時30分から
※午前11時から整理券を配布

大阪府立弥生文化博物館1階ホール(170席)

本間 元樹「山賀遺跡 今世紀の発掘調査」

森田 拓馬「垂飾形木製品の複製品製作」

水野 正好「山賀遺跡が問いかけるもの」

展示内容

たれがせり
「垂飾」形木製品

弥生時代前期～中期初頭の土器

弥生時代前期～中期初頭の動物骨

弥生時代前期～中期初頭の石器

弥生時代前期の赤彩土器

弥生時代前期の黒色物質付着土器

弥生時代前期～中期初頭の他地域の土器

「垂飾」形木製品関連資料

(展示品約280点)

大阪府治水事業の紹介